

《人事委員会事務局》

◎土森委員長 次に、人事委員会事務局について行います。

事務局長の説明を求めます。

(総括説明)

◎土森委員長 質疑を行います。

◎坂本(茂)委員 県外で行っている募集や試験の実施の効果。全体的に下がっているというのはあるんですけども、もしやっとなければもっと下がるとか。県外で行っていることの効果を。

◎金谷事務局長 今は東京で、ことしから大阪も。やはり県外の受験者は一定数ございます。出席率も非常に良く、高知県1本でやるよりは東京、大阪で分けてやるのが非常に有効な手だてではないかと考えております。

◎坂本(茂)委員 先ほど言われた数字は全体の数字だと思うんですけども、そのうち県外での分がどれぐらいを占めていますか。

◎金谷事務局長 26年度が102名、27年度が79名、28年度が132名でございます。

◎吉良委員 男女比はどうなっていますか。女性の受験者はふえているんですか。女性を活用することなので、そういう取り組みも今後必要になってくるかと思うんですけども、その辺について意図的に対応なさっているかどうかをお聞きしたい。

◎金谷事務局長 公務員試験なので男女の制約がございません。ですから自然の成り行きといえますか、受験者の意向が直接反映されます。例えば、男女の割合を申し込み者の状況で申しますと、平成26年度は男性が600名、女性が419名、27年度は男性が550名、女性が379名、28年度は男性が464名、女性が318名という状況でございます。民間と比べると、公務員試験は女性の受験の割合は相当高いのではないかと受けとめております。

◎吉良委員 合格率はどうなんですか、女性の率がいいのか。

◎金谷事務局長 先ほどの数字に対比するものとしまして、合格者は26年度は男性が60名、女性が59名、27年度は男性が59名、女性が31名、28年度は男性が61名、女性が43名という状況でございます。

◎吉良委員 ということは、一般的に女性の合格率が高いと見れるんですか。

◎金谷事務局長 一概に高いと言えるかどうかはわかりませんが、男女ともにその受験割合に応じた結果として、採用の数字になっておるのではないかと受けとめております。

◎吉良委員 同じような形で採用している割には、女性の登用は管理職を含めて随分と男女の差がありますよね。だからその辺は、登用のあり方も含めて、人事委員会としても気をつけて、女性の管理職の登用に向けて何らかの取り組みをさらに進めていく必要があ

るかと思うんですけども、それについてはどうですか。

◎金谷事務局長 毎年、任命権者には人事委員会報告として人事行政上の課題等につきまして報告等もさせていただいております。ことしは、男女の登用の項目につきましては触れてはおりません。御指摘の部分につきましては、我々としまでも課題意識は持っておりますので、またいろいろと研究する中で任命権者側とも協議をしていくような形にしていきたいと思っております。

◎吉良委員 ぜひよろしく申し上げます。

◎土森委員長 質疑を終わります。

以上で、人事委員会事務局を終わります。

なお、水産振興部に資料提出依頼しておりましたが、後日配布をさせていただきたいと思っております。

以上をもって、本日の日程はすべて終了いたしました。

次回は、10月30日月曜日に開催し、産業振興推進部、中山間振興・交通部、観光振興部の決算審査を行います。

開会時刻は午前10時といたします。

これにて本日の委員会を閉会します。

(16時6分閉会)